

# 07

ボランティア活動奨励賞

## 川崎市立麻生図書館を 拠点に本の楽しさを 届けるための活動

おはなしたまてばこ

### おはなしたまてばこ

**代表者** 代表 齋藤 里実

**設立** 昭和 62 年 6 月

**住所** 〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西 7-23-6



▲2018.5 月 子どもと本の講座 PT15 受講生の実習



▲2018.9 月 あさお子育てフェスタ ポスター展示

### 実績

より多くの子どもたちへの読書活動普及のため、麻生図書館や麻生区内小学校でおはなし会を行い、質の高い絵本を手渡す活動を続けています。また、地域の読書活動の担い手育成のため、2018 年度で 16 回目となる「子どもと本の講座」を開催。他に「大人が楽しむおはなしの会」など、様々な人が本に親しむ機会を作っています。行政主催のイベントである「子育てフェスタ」にも毎年参加を続けています。2019 年に 30 周年記念事業の実施も予定しています。

# 08

ボランティア活動奨励賞

## 子ども達が遊びながら 自然体験ができる 「冒険遊び場」の設置と運営

ドリームプレイウッズ管理運営委員会

### ドリームプレイウッズ 管理運営委員会

**代表者** 委員長 澁谷 敏夫

**設立** 平成 14 年 4 月

**住所** 〒252-1107 綾瀬市深谷中 7 丁目 3071 番地



▲遊具はすべて運営委員の手作り



▲遊具を使っているいろいろな遊び方を楽しむ子どもたち

### 実績

2002 年 7 月に綾瀬市深谷にオープンして以来、「怪我と弁当は自分持ち」を合言葉に、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶことができる場所として、地域の皆様のご理解ご協力もいただきながら年中無休で遊び場を開放しています。

ウッズにある遊具は全て運営委員の手作りで、竹藪、湧水、斜面など、自然の地形を生かしながら、少し勇気のいる遊具、遊び方を自分で考える遊具などを設置。自然で、自由で、少しの危険は、子どもの成長過程に必要と考えて運営しています。

# 09

ボランティア活動奨励賞

## 人形浄瑠璃「相模人形芝居」 の継承活動

相模人形芝居 下中座

### 相模人形芝居 下中座

**代表者** 座長 林 美禰子

**設立** 昭和 28 年 12 月

**住所** 〒256-0816  
小田原市酒匂 1-6-14-N



▲下中小学校の公演の様子



▲橘中学校相模人形クラブの稽古風景

### 実績

江戸時代から小田原市小竹地区に伝わる人形浄瑠璃の伝統継承に努めています。従来からの成人向け伝承活動だけでなく、地域の小・中・高等学校でのクラブ活動などへの指導に力を入れています。

子供たちのために作った新作『坂田金時 怪童丸物語』は人気の演目となり、再演を重ねています。学校で伝統芸能の魅力に触れた生徒たちが、卒業後に下中座に入座することが増え、現在座員の約3分の1を占めています。

# 10

ボランティア活動奨励賞

## 先駆的な子育て支援活動と 「びーのびーの幼稚園・ 保育園ガイド」の制作 特定非営利活動法人びーのびーの

認定  
NPO

特定非営利活動法人  
びーのびーの

代表者 理事長 奥山 千鶴子

設立 平成 12 年 2 月

住所 〒222-0021 横浜市港  
北区篠原北 1-2-18



▲「びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」



▲保護者の生の声を盛り込み、195 園もの子育て施設の情報を掲載

### 実績

「地域で共に育ち合う子育て環境づくり」を目指して、港北区内で親と子のつどいの広場、地域子育て支援拠点、小規模保育園、預かり保育などを運営しています。居場所の運営とともに「幼稚園・保育園ガイド」の出版、WEB サイト制作、学会事務請負、企業との協働事業などを行っています。2017 年度より地域交流福祉スペースを運営し、介護予防含め、子育て以外の活動にも携わるなど、子どもから高齢者まで、地域の人達が支え合って暮らしていけるような仕組みを地域の関係機関とともに提案しています。



11

ボランティア活動奨励賞

## タイ、ミャンマー、インドなど アジアの途上地域への自立支援と 国際ボランティアの育成

特定非営利活動法人地球市民ACTかながわ

認定  
NPO

特定非営利活動法人  
地球市民ACTかながわ

代表者 代表理事 近田 真知子

設立 平成5年4月

住所 〒231-0821 横浜市中区  
本牧原 3-1-203



▲タイ山岳少数民族の子ども達への教育支援



▲インドアウトカースト女性のための安全な村  
づくり支援

### 実績

アジアの途上地域の子も達が一人でも多く教育を受け、幸せで明るい未来を開くことができるよう、タイ、ミャンマー、インドにおいて主に少数民族や農村部の子ども達と女性達の教育と健康、自立のための支援活動を行っています。

また、他者を尊重し人や社会の役に立つ人材としての真の国際ボランティアの育成を行っており、神奈川県民を中心に10代～90代まで年間延べ3,000名以上のボランティアが活発に活動しています。

# Gallery

-かながわボランティアフェスタ-  
2019.2.11



かながわボランタリー活動推進基金  
21事業を実施しているボランタリー団  
体（OB団体含む）が相互に連携・協力  
しながら、その活動を社会に発信する  
イベント「かながわボランティアフェ  
スタ」を開催しました。



# 12

ボランティア団体成長支援事業

## NPO支援機関の専門力強化および、 NPOと支援機関のマッチングによる 中長期計画策定支援

関内イノベーションイニシアティブ株式会社

### Profile

事業期間：2017年度  
委託料：7,200千円  
(1年間)

### 活動

「現在」をとらえなおして、  
「未来」を描く

この事業では、神奈川県がより良い地域になるために、持続可能なNPOのビジネスモデルや、海外におけるNPO関連施策について関係者の共有理解を深めるとともに、NPOの中長期計画策定を通して、効果的な支援施策の創出、支援体制の確定を図ることを目的としています。

中間支援組織向けの講座を全3回。また、県内でボランティア活動をしている団体経営者を対象として、組織力強化のため中長期計画策

定を支援する「ボランティアエースプログラム」を全4回行いました。

また、ボランティア団体の支援のあり方研究会(全3回)を開催し、ボランティア団体における資源獲得の類型や課題を明らかにしつつ、資源が効率的に獲得できる社会の構築に向けて、行政、中間支援組織、一般企業、金融機関で議論を深めました。

## 成果

### 組織体制見直しや 法人化する参加団体も

中間組織向けの講座では、NPO 向けの WEB マーケティングのセミナーを行うなど NPO 支援機関の専門性や基礎知識の向上を図りました。また、NPO がどのようなサポートを必要としているのか、地域における中間支援組織のあり方について考えるワークショップを行いました。

ボランティアエースプログラムでは、県内の中間支援組織の方々にも伴走支援者として参加いただき、団体に関わる環境や団体として目指すもの、団体の強みと弱みを一つのシートにまとめることで、それを団体に関わる様々なステークホルダーと共有しながら、団体のどこを強化したら良いか考えるワークショップを行いました。参加団体の中から組織体制の見直しや法人化を行うなど具体的なアクションを行っている団体も出ています。

またボランティア団体の支援のあり方研究会では、これまで意識していなかった社会性のある事業や必要とされているサービスについて、社会の変化に合わせて事業モデルや提供する

価値を捉えなおす必要性をより強く感じる事ができました。



▼ワークショップと講義  
(上、左下)

▼講師の松本先生(右下)



### ★ 参加団体の声 ★

- 「団体を見直す方法を教えていただき、説明もわかりやすく理解できた。共有しやすい形での仕上げと、他団体の方との交流もできた。具体的な事例をあげての説明が多く理解しやすかった」(つるみ“ままつぶ”を作る会)
- 「客や寄付者の目線に立ち団体の強み、価値を見つめることが大切だとわかった。団体内でも意見交換をしたいと思います」(NPO 法人日本補助犬情報センター)



広報担当  
堀籠 宏幸 さん

第3期となるボランティアエースプログラムでは、松本先生のほか、これまでの受講生にも講師として活動を通しての学びや経験をお話いただきました。4つのテーマに関する講義だけでなく、期間中に実践することで、より高い成果を出せるようなプログラムになりました。

株式  
会社

関内イノベーションイニシアティブ  
株式会社

代表者 代表取締役 角田(治田)友香

設立 平成22年12月

住所 〒231-0003 横浜市中区北仲通3-33 関内フューチャーセンター

活動紹介 シェアオフィス mass×mass 関内フューチャーセンターを拠点にソーシャルビジネスを中心とした起業家の育成を実施しています。また、神奈川県内のNPOの活動サポートもしています。